

北陸発 国際協力 これがJICA北陸!

新たなスタッフ登場! 彼らの日ごろの業務は? 新たな3人を中心に、JICA北陸を紹介します。

JICA北陸は平成4年10月に設立されました。富山県・石川県・福井県を担当しています。

[ボランティア担当]
ハンガリーに体育指導(青年海外協力隊)、民間組織からベレーで少年野球指導、JICAボランティアの派遣前訓練スタッフ、ニカラグアでボランティア調整員(現地でボランティアをサポートする業務)を経験

加藤 秀一
KATO SHUICHI

[支部長]ラテン系

鈴木 達男
SUZUKI TATSUO

[進路相談カウンセラー] ボランティアOBの進路相談係ボランティアを終え、帰国してからの進路開拓について、これまでの人生・社会経験で培った知識とネットワークで進路相談や情報提供をします

大塚 忠寿
OTSUKA TADATOSHI

[経理・総務担当] 金沢は2度目

小宮真砂子
KOMIYA MASAKO

[広報・総務担当] 新聞社で広告制作等、貿易会社で翻訳を経験。ホームページ、「地球の広場」担当

宮崎 麻子
MIYAZAKI ASAKO

[地球の広場] 講演希望はこちらへ
jicahric@jica.go.jp
TEL 076-233-5931

[課長] 農業の専門家

藤井 智
FUJII SATOSHI

[石川県国際協力推進員/TEL.076-262-5932] ニカラグアで村落開発普及員(青年海外協力隊)として農村で鶏のワクチン接種や、女性グループの手工芸品販売活動の支援を行なった

松井 久美
MATSUI KUMI

[福井県国際協力推進員/TEL.0776-28-8800] 中国で日本語教師(青年海外協力隊)を経験、現地の民間企業で勤務した

清水 美香
SHIMIZU MIKA

北村 哲郎
KITAMURA TETSURO

[研修担当] トンガで日本語教師(青年海外協力隊)を経験

木水 薫代
KIMIZU TSUTAYO

[研修副担当] 研修の補助を担当

松田 理子
MATSUDA RIKO

松井 優子
MATSUI YUKO

[富山県国際協力推進員/TEL076-444-2500] 大工の経験を活かし、マラウイで木工を教えた(青年海外協力隊)

自己紹介
ボランティアは私にとって切っても切れない関係です。富山とマラウイでボーイスカウトのリーダーをし、ゴスペルに参加、現在も開発教育に取り組んでいます。JICAボランティアや、マラウイでの募金活動は大切な思い出。青年海外協力隊時代の経験を地元発信していきたいです。

業務内容(北陸3県共通)
JICAボランティア募集時(春・秋)に、募集説明会を北陸各地で開催します。JICA国際協力出前講座や大学・専門学校に出向いて行う特別説明会のコーディネートやパネル展等も行なっています。ボランティアに関する様々な、ご相談を随時受け付けております。お気軽にご連絡下さい。

青年海外協力隊
シニア海外ボランティア

[市民参加調整員/開発教育担当] 大学在学中にNPO法人「開発教育協会」でボランティアに参加。開発教育の教材(「もしも世界が100人の村だったら ワークショップ版」「パーム油のおはなし」等)作成に参加。卒業後、民間企業でベトナムへ。JICA本部、JICAガーナ事務所まで平和構築を担当、ラジオのパーソナリティを経験

自己紹介
生まれも育ちも石川県、「地元愛」で日々業務に励んでいます。学生時代、旅行で開発途上国を訪ね、目の当たりにした現実に衝撃を受け、「世界の現状を伝えること」の大切さを実感しました。好きな言葉は「Think globally, act locally(地球規模な視点を持って地域から行動する)」です。一人でも多くの人に世界の今と自分たちとのつながりを感じてもらえるように頑張りたいと思います。

JICA中学生・高校生国際協力エッセイコンテスト 作品募集
募集期間 2010年6月16日(水)~9月17日(金)
詳しくは [JICAホームページ](#) ⇒ [開発教育](#) ⇒ [エッセイコンテスト](#)

教師海外研修
開発教育・国際理解教育に関心のある先生方が開発途上国を訪問し、開発途上国の置かれている現状や日本との関係、国際協力活動への理解を深め、その成果を児童・生徒の教育に役立ててもらうことを目的としています(今年の研修国はアフリカ・ウガンダ共和国で8月3日から8月13日に実施、北陸から7名が参加)。国際協力出前講座も担当しています。詳しくは、推進員までご連絡下さい(連絡先はこのページに記載)

業務内容
「開発教育」と聞いて経済開発を進める教育をイメージされるかと思いますが、これは、地球上の開発をめぐるさまざまな問題を理解して、望ましい開発のあり方を考えて、共に生きることのできる公正な地球社会づくりに参加することをねらいとした教育活動です。JICA北陸では北陸3県の小・中・高校等の教育機関や、市民に向けて開発教育の普及活動を行っています。



[研修・広報担当] OA機器会社で勤務後、カメルーンの高校で情報処理を指導(青年海外協力隊)、その後、現地の日本大使館に勤務。空手を特技とし、インターハイ出場を経験。空手を通じ、現地の空手家と出会い、帰国後結婚

自己紹介
初めての一人暮らしがカメルーン共和国、そして今は富山県に復帰した地元大好き人間です。「海外で働いてみたい! 自分にも何かできるはず!」と、青年海外協力隊員になり、「北陸に戻って働きたい! 開発途上国の人びとと関わっていきいたい!」と、この仕事を選びました。北陸の活性化に貢献し、開発途上国の人びとに北陸の良さを知ってもらい、少しでも多くの北陸ファン・日本ファンを増やしたいです。

業務内容
開発途上国より研修員を招き、将来の国づくりを担う人材を育てるための「青年研修」業務を担当。地元の団体の協力を得て、研修を実施します。研修員は北陸に滞在し、各専門分野の知識・技術を向上させる研修を受けます。

例え、
漁を体験
日本海での漁業。環境を考慮した効率の良い漁業を紹介。研修員が実際に定置網漁を体験

アフリカでも稲作を広めるため、研修員に北陸の農業の現場を紹介
稲刈り実習

広報では、今年度も国際交流イベントを開催。詳細は随時JICA北陸ホームページで紹介します。

JICAブースで国際協力に触れよう! 民族衣装を着て水運び体験をしよう!

市民参加協力事業 草の根技術協力事業 in 中国

(中国・内モンゴル自治区アラシャン盟における包括的貧困農牧民の生活支援と地域住民の環境教育を通じた砂漠化防止事業)

1960年ごろから過放牧により急激に砂漠化が進んだ内モンゴル自治区アラシャン盟。草の根協力事業として砂漠の緑化に取り組むNPO法人「世界の砂漠を緑で包む会」の活動現場を今年3月に視察しました。その様子を写真で紹介します。

詳しくは [JICA北陸ホームページ](#) ⇒ [青年研修](#)